

新素材にける

ものづくり最前線

■1■

プラスチック、ガラス、アルミなどの既存素材に代わり、優れた特性を引き出して高い機能を持たせた新素材が、先端技術や生活関連分野で広く使われるようになってきた。金属と樹脂、金属と木材といった異なった素材を組み合わせた複合材の開発も進んでいる。こうした新素材の用途や将来性、加工法などを取材した。(宮沢輝明が担当します)

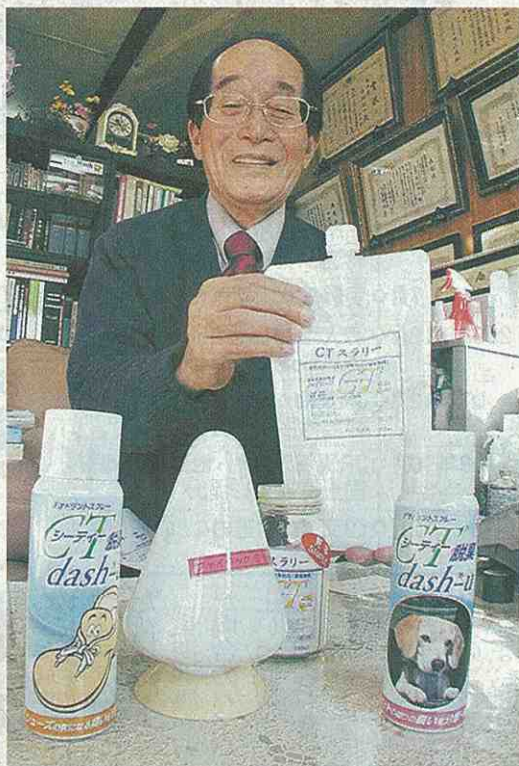
嫌なおいを消したのがきっかけ。

り、汚れを防いだりする ファイラックインター
白い粉末。見た目は小麦 ナシヨナルの市村昭二社
粉のようだが、抗菌作用 長(ハシ)理学博士が育
もある優れたもの。電子の った福田町(現磐田市)
やりとりによる酸化還元 はかつて、別珍の産地だ
作用を利用した触媒「フ ったが、東南アジアの安
アイラック(FIRA C)CT」だ。
触媒をつくることにな を知っているだけに「何
ったのは、タイルの市場 とかしてやりたい」と引
占有率が約六割の岐阜県 き受けた。
美濃地方から「業界の衰 ファイラックCTに
退に歯止めを掛けたい」 は、電子を出す原子(ド
と相談を持ち掛けられた ナー)と、電子を受け取

酸化還元作用利用の触媒

ファイラックインターナショナル

消臭・防汚などに威力



嫌なおいを消したり汚れを防いだりする白い触媒「ファイラックCT」—磐田市福田のファイラックインターナショナル本社で

市村昭二氏(いちむら・しょうじ) 1927(昭和2)年豊浜村(現磐田市)生まれ。東京大学部卒。米ミネソタ州立大、イリノイ大の各客員教授、富山大学工学部教授などを経て、85年ベスタ電子を起業。97年にファイラックインターナショナルに社名変更した。

電子の移動により、血行促進で痛みを和らげる効能があるという。は

る原子(アクセプター) 特別な光や熱が必要なく
があり、プラスの電位に 水点下二〇度から反応す
なったドナーに対応する る。一三〇度でも耐え
酸化元素と、マイナス電 化するため、マンシヨ
位になったアクセプター られ、活性酸素を出さな
に対応する還元元素で構 いので用途も広い。
成する。 電位変化による浸透圧
これに、ドナーが放出 の変化で、細胞膜の中
した電子を運ぶキャリア 水分量の変動を利用し、
が介在するのが特徴。 抗菌効果を発揮する。
タイルの場合、糊薬に 筋肉痛や関節痛のため
「パス」にも配合してい の張り薬「ファイラック
す。 くれればうれしい」と話
だ。任期は四月一日か
ら一年間。
大石さんは二〇〇六
年度にキャリアアップ
委員長、〇七年度から
は副会長を務めた。原

助成金活用で雇用維持

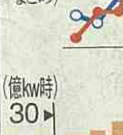
公で説明会

ればと切実だった。労働局によると、休業計画の届け出は従来は県内全体でも月二件程度だったが、十二月は浜松地区だけで約七

次期会長に大石さん選ぶ
浜松商議所女性会
浜松商工会議所女性
会(勝山邦子会長)は

県内の電力統計

(中電静岡支店・東電沼津支店まとめ)



県内11月電力販売前年同月比5.2%減
減産で産業用不振
中部電力静岡支店と
東京電力沼津支店がま
とめた県内の昨年十一
月の電力販売実績は、
総販売量が二十五億キ
ロワットだった。前年同月
比5.2%減で、三カ
月連続で前年実績を下
回った。
契約数が増加したこ
となどから、家庭用を
示す電灯需要は1.9
%増の六億三千六百三
十六万四千ワットと伸
びた。
産業用大口は景気悪
化を受けた減産の影響
などで全産業で前年を
割り込み、11.4%減
の十億六千二百二十四万